（六日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭第一第三日曜
定價（壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵税十錢）
廣告料二行五十錢指定廿錢增
發行兼編輯印刷人　蓮沼龍輔
福島縣平町田町拾六　發行所　磐城新聞社　電話五六四番

夢□物□語□□□

城山山人

はかない事のたとへによく引き合に出されるのが夢である、支那の傳説として有名な邯鄲の夢の枕の話。又人生五十夢と幻の如しといひ、朝鮮の俗諺にも人生萬事が春の夢の中にゐるより更い淡いと歌つたものがある。而も夢そのものがはかないものであるにかゝはらず一抹の懷しさ(?)を持つてゐるのは特質である、淡い戀の夢を逐ふ甘い人もあれば、良い夢でも樂まふといふ

夫は　誰方にも御勝手な然し良い夢を見やうと思つたつてなか〜そうはゆかない。夢の方で勝手に苦しい夢でも嬉しい夢でも見せてくれるのだから仕方がない、邯鄲の枕の話しでは若男が金持になつた夢を見るといふ不思議な枕を借て寢たらなるほど幾年か豪奢な生活をした夢を見たが醒めれば炊きかけて置いた黃粱がまだにね切つてゐなかつたといふこれは傳說でこんなに都合よく出來てゐるではない

扨て　夢はどうして見るのだらう。それは睡眠中に知覺が働いて夢を見させるのだと學理上には以てゐる、即ち眠りついた當座とか目が醒める前には夢を見る、それが正當な夢の見方であるところが時々いやな夢ばかり見てたち〜眠れないことがある、これは何か心配があるときに起る現象である。心のわだかまりがあるために眠ろうとしても知覺が働くそれがためにゆめを見る本來ならば前に述べたやうに睡眠の初期と後期とに見るな世中期にゆめを見ないかといふと、睡眠の刑式がVの字型である結果である。つまり中期には前後不覺に眠つてゐるこの時期にはゆめも見ないである、

夢の　深度は睡眠時間八時間とすると、眠つて二時間目ころとされてゐるそれが心配事でもあれば、波型になる、つまりゆめばかり見るのである。だからゆめは自分の思つてゐることが變形して現はれるのが普通である。世に正ゆめなどといふ事があるがあれは其やうな事があるべきではない。偶然に符號したものとしか無いのである

斯う　いへば思ひがけない事をゆめに見るのはどうしたのだと反問があろうが、吾々は時々遠い昔の思ひ出を思ふ事もありあらぬ空想を描くこともある。つまりそれがゆめの中にも起るからによる。又手を胸に置いて寢ると惡夢を見るといはれてゐるが、これは手に限らず何でもその壓迫によつて苦しいゆめを見る。快感を與へれば知覺が眠つてゐなければ快よいゆめを見る。それは赤ん坊をくすぐると眠りながら微笑むことがあるのでも分る或ひは眠つてゐて何かの音響をきいてそれを取り入れてゆめを見る事もある。所謂ゆめ心地にゆめを見ながら今迄見てゐたゆめの中に消化する

まあ　以上の樣な事でゆめを見るのであるからつまり快よい時には快よいゆめを不快な時には惡夢に襲はれるだから良いゆめでも見やうと思ふなる寢る前に頭からざんぶり水をかふつてさつぱりした氣持で寢るがよいのである。夏の事だから丁度よい。そしたら邯鄲のゆめそこのけのすばらしいゆめを見るかも知れない

❀朔日❀
❀吉日❀
新曆八月七日
舊曆七月三日

▲一白　持ちに待ちたる甘露の日和何事も進みて吉▲二黑　行く所可ならざるなし旅行開業何づれも大吉▲三碧　行樂祈詣は可なれども新規事業は愼むべし▲四綠　他人の言に動かさるゝ爲は失敗を見るべし▲五黃　驕りを戒め人言を尊重すれば吉日たるべし▲六白　少しの障りは打ち開きつゝ進み進みて吉し▲七赤　信用を重んじ秩序を亂さぬ樣にすれば吉日▲八白　此の所勇氣を出して進むのが有利たるべし▲九紫　思りよ大切にみだりに人の誘ひ乘るべからず

芳醇無比
白馬の雪
松本徳一吟釀
電話(平)七五二

小說

死を超ゆる者

(56)

三上於菟吉作
布施平八郞畫

友情（四）

「俺は、あの女についニ三日前に逢つたぞあれの爺が江馬の處に家令をして居た頃、あの娘を見た儘だがひどく大きくなつて居たぞ」

「大きくなつてと云ふ奴があるか赤ん坊じやあるまいし……」

と高山が言つたが

「で、どんな、樣子だつたね？」

實は、さつきも言ふ通り貴樣の後を追ひ廻して居た夕方――俺は赤坂の梅鉢へ高山が來て居るかと怒鳴込んだが、女中の奴に追つ拂はれて、ひどく詰らなく辨慶橋を渡つて歩き出した、すると出し抜けに、ブウと自動車奴が來やがつた、フト中を見るといやに肥つた僕見たいな爺さんの側に、細面な、美しい女がちよんぼりと坐つて居るじやないか、よく〜見ると驚いたこれは、あのとき子なのだ素晴らしいなりをして指にも髮にもきら〜とした物を付けて居た……」

「幸福、さうだつたかい」

と、高山が口をはさんだ

「そいつは、一寸判らなかつたが扨なアまづ僕の見當では……」

「何に君の見當ぢやないその時の實況だ、女は何うゆふ風をして居たか、その樣子は……」

「なにしろ、自動車で一歩ブウブウと來たので、とても想像は一瞬間だ、そうだなア」

「想像がつかぬのか兎に角その時女はどう云ふ格好だつたかと言へば、大底その心中は察せらるゝよ……」

「ウム、其の時は、確に女は泣ちや居なかつたぞ、而し幸福と言ふ面想ではなかつた」

「而し、お蔭で佐柄の爺さんはねらい勢ひになつたと云ふせ……」

と高山は云つた、そうして彼は急に何にか思ひだしたやうに付け加へたのであつた。

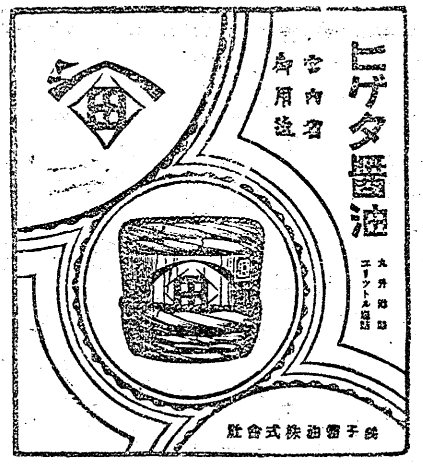
「たゝ、そう〜實は俺は江馬の實父が京都で日本畫家になつて居ると云ふ話を一寸この間彼の和子夫人から聞いた、幸い從兄が彼地で學校の教師をして居るので、ろく調させて見たんだがその男は改名でもして居ると見えるどうもよく解らなかつた處が先達て△△倶樂部に、京都の保守派の展覽會があつたろう、あの時、何の氣なしに行つて見ると事務室に四五人、保守派の老人連が集まつて居たが其内に縁なし帽子を被つて十德の何か着て一寸見上げた處は五十格好の男が居た、どうも其男の顏が確にどこかで見たようなんだ、次の瞬間にあれは江馬を老人にした顏だと僕は思つた輪廓のよい、額なり高い鼻なり江馬に瓜二ツさ僕は居合せた男にあの品のよい老人は誰れだと問いた……が然し妙な事もあつたものだ實に江馬を老人に樣な顏付で世には似合顏他人の空似と云ふ事もあるがそれは〜實に僕は不思儀に思つた程よく似ているぞ」

「ふむ」と村越は何心なく友達を眺めた

「あの方を知らないんですか？あれは有名な秋領先生じやありませんか、と言つて其男は行つて了つた」

廣告

吉田眼科醫院



宮内省御用達
ヒゲタ醬油
銚子醬油株式會社

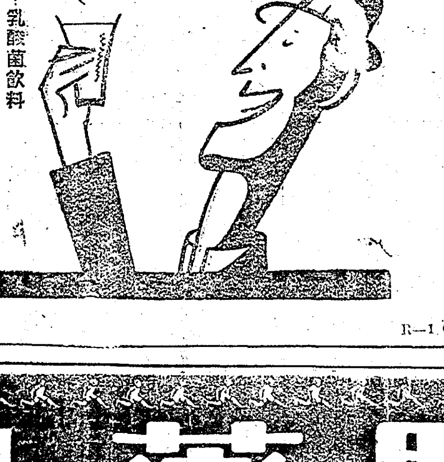
平町田町
特約店　廣瀬支店
電話五四番

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵金物問屋　㊅釜屋商店
諸橋久太郎
電話九番　一三九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は㊅の生命なり

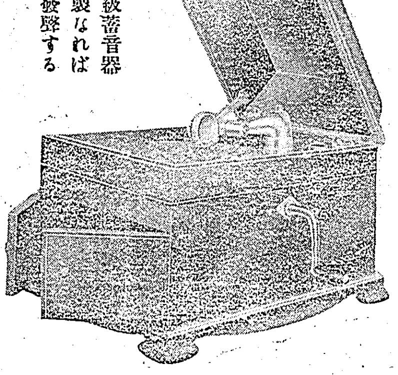
安全第一
營業課目
勸業債券・復興債券・公債其他　兩替　金融
質物一般　取扱
諸債券、公債ノ御用ハ迅速簡易ヲモツトートスル弊店ヲ精々御利用クダサイ
多田井商店
平町大工町

内臓外科
骨關節外科
專門　藤本順
整形外科
產科
婦人科
院長　木村寅次郎
平町新川町
外科
婦人科
木村病院
電話一六四番

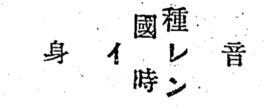
新築移轉
耳、鼻、咽喉科
合津醫院
平町仲田町七一（電話五五九）



レツキス
胃腸を丈夫にして
健康を增進する
理想的榮養飲料
おいしくて榮養になる……乳酸菌飲料
發賣元　蜂ブドー酒本舖
R-1.0



各社八月新譜全部揃いました
海に山に避暑の旅に
新たに生れたコロンビア手携蓄音器を
御買求めは今！
御用命は是非皆樣の三幸堂へ
新發賣高級蓄音器
音管導鐵製なれば
肉聲其儘發聲する
特價三十五圓也
蓄音器レコードは何んでも揃ふ店。
遠路の方はハガキで御注文下さい、壹枚でも送ります
ビクター會社
コロンビア會社
平販賣部
三幸堂



優秀なる最新型腕卷時計
蓄音器
眼鏡
各種レンズ
各國時計
ダイヤ
指輪
裝身具
鐵道省御用
クジヤク印蓄針特約店
金光堂時計店
平町五丁目　電話二三六番
貴金屬御注文製作品早く良奉仕的特價に致します

健康第一
健康は胃腸から
ホシ胃腸藥
クスリはホシ
星製藥株式會社

平町の藝者の玉代 一本二錢の値上

遊興税の賦課増額から 餘儀ない組合の手段

平町藝妓屋組合並に料理店組合の請負取扱ひに係る遊興税の昨三年度納附額は縣税九千六百圓、町税六千九百八十八圓八十錢の合計一萬六千五百八十八圓八十錢であつたが税額の増加に伴ひ今四年度は昨年より更に六千七百圓（四割）増加徴集する旨七月十日附を以て縣より通知があつたので組合では一驚を喫し幹部會を開いて對策協議の結果

縣會の決議を經た遊興税の増額率は二割六分五厘であるのに獨り平町のみ四割の増額は不當であるのみならず新年度四月よりの増額徴集を七月に到つて通告されても致し方がないから四割増額が動かし得ぬとするならば通告前の四、五、六の三ケ月を前年通りとし七月以降の分に對してのみ賦課徴集して貰ひたい」と陳情書を縣に提出種々接衝する所あつた結果縣も折れて平町組合の要求を容れ増額率は縣下各地と同樣二割六分五厘とする代り三ケ月をさかのぼり四月より此の増額割合ひを以て納附する事に折合ひがついた

即ち今年度税額は縣税一萬二千百十四圓、町税八千八百四十四圓八十錢の合計二萬九百八十四圓八十三錢して結局前年より四千三百九十六圓三錢の増加を餘儀なくされ、之れが然かも八月から來年三月まで八ケ間に此の賦課額を納附すべき責めを負はされた當然の結果として組合は藝者の玉代一本二錢の値上げ（從來一本六十五錢を六十七錢に）をなすの外なき事情に至り來る八月十一日より實施と決したが右につき平藝妓組合行司國府田直良氏は語る

僅か一本二錢の値上げでも此の際お客筋の負擔も重からしめる事は組合も不本意ではあるが此の道を撰ぶほか詮なく斯く決定しました、今後八ケ月間に二十萬本を賣れるものと豫想すれば四千圓が浮び幸ひ二十萬本以上の賣れ高を示せば増額の分だけは何とか埋め合せられる算定で玉代値上の點は御了解願ひたい」云々

酒造家一戸で 四萬圓

石城の酒造税

平税務署管内に於ける本年度第一期酒造税額は十九萬八千五百十七圓三十三錢の多額に達して居り酒造家は四十九名である一名平均約四萬圓を納めねばならず地方の經濟界が極度に不振の際であるから納入の成績も頗る氣付かはれてゐたが十一日の納期迄には完納と云ふ豫定を裏切つた非常な好成績であつたこの第一期分を前年に比較して見ると人員並に税額に於て幾分の減少を示してゐるが、之は不景氣にたゝられて釀造を差控た者があつた爲であると

連日の酷暑續きに 飛出す氣狂者

突飛奇拔な風變り 平地方焦熱地獄

平町地方は連日の殺人的酷暑に惱まされてゐるが此の酷暑の副産物として精神病者が俄かに増加した石城郡草野村大字新舞子新妻キン（三三）は湯本町の溫泉浴場に三日間も入つて人々を驚かしたが四日朝平町白銀町北辰妙見神社前に裸体の女が居るので附近の者が不審に思ひ聞き訊し見ると同人は相馬郡生れ性不詳某（二九）と云ひ相馬節を唄つて日頃平町の各所を徘徊してゐたものであるが酷暑の爲めに三日の夜、妙見神社の社殿に寢てゐたものと判明した斯くの如く精神病者が横行し殊に婦人の病者が多いので平署では夫々監置並に非常置精神病者を取締つゝあるが日頃はそれ程でもなかつたものが此の近來の暑さのため病勢が昂進して各所を徘徊するに至るものらしく數日前には平驛前の道路に寢てゐた湯本町方面の女精神病者もあつた

小名濱商港復活 運動費寄附芳名（七）

領收證に代ふ　小名濱町役場

一金壹圓也	志賀治作
一金五拾錢	横山岸吉
同	吉田繁
一金壹圓也	小野由吉
同	蒸谷寅之助
同	伊藤經太郎
同	小島竹次郎
同	伊藤甚次郎
同	柳内金次郎
同	小野熊太郎
一金五拾錢	吉田好之助
同	茂垣政平
同	柳内助八
一金壹圓也	小野竹次郎
同	平野鐵之助
一金參拾錢	神崎安造
同	柳内由之助
一金五拾錢	小野寅松
同	大原由之助
同	林寅造
同	山野金次
一金參圓也	志賀利定
一金壹圓也	小野藤吉
同	小野長壽
同	水野忠護
一金五拾錢	茅根拾吉
同	小野秀雄
一金壹圓也	小松諦吉
一金五拾錢	鈴木岱助
同	矢田部
同	三橋直夫
一金壹圓也	小野磯右エ門
一金五拾錢	穗積寅吉
一金壹圓也	伊藤良助
一金五拾錢	鈴木新吉
一金壹圓也	小野市太郎
同	長瀬シナ
一金五拾錢	吉澤春雄
一金壹圓也	丹治卯平
一金五拾錢	大阿久近右エ門
一金壹圓也	小野豐十
一金五拾錢	馬上末吉
同	澤瀬圓五郎
一金壹圓也	鈴木金吾
同	飛田春吉
同	作山米吉
同	金成善平
同	坂本卯之助
一金貳圓也	小島源七
一金壹圓也	志賀彌市
一金五拾錢	金子留之助
一金壹圓也	藤店重吉
一金五圓也	山野德藏
一金壹圓也	御代龜吉
同	小野富七
同	川村太吉
一金五拾錢	大谷代三郎
一金壹圓也	小野與作
同	伊藤金吉
同	志賀勇治
同	同　榮吉
同	小野由松
同	同　三五兵二
同	同　伊勢松
同	志賀治郎
同	小野長吉
一金五拾錢	伊藤梅次郎
同	志賀龜吉
同	吉田發吉
同	由村鐵太郎
同	伊藤榮治郎
一金壹圓五拾錢	渡邊榮藏
一金壹圓也	伊藤萬吉
同	同　彌七郎
同	志賀長治
同	伊藤巳之助
同	小野榮三郎
同	志賀德太郎
同	佐藤廣藏
同	小野サト
同	伊藤淺之助
一金五圓也	志賀要き
一金五拾錢	小野長四郎
同	森田藤吉
同	橋本靜次
同	金成富三郎
同	伊藤清助
同	沼田辰之助
同	河部正

講習終れば 統計大會

十日小名濱で

本縣主催統計講習會は去る二日より小名濱町小學校に於て開催中である事既報の如くであるが同會は九日を以て終了するので十日午前九時より更らに縣下統計大會を開く筈である

平バプテスト

平町材木町バプテスト教會では六、七日午後八時より横濱關東學院教諭藤本氏の生命力に就ての講演がある

平區通話區域

平郵便局では八月一日より新潟縣卷局へ通話區域の擴張を行つたが料金は一通話四十五錢

みやこ箸の 製造奬勵

植田町に新設された植田營林署では新設官廳としての利潤を地方民に與へ地元の期待に添ふべく考究中であつたが同營林署管内から無數に産するみづほ、うりはだかへり、こしあぶら等の木を材料として箸を製造するときは目下全國的に歡迎されて居る都箸と稱する美事箸が出來上り販路極めて廣く相當の利益を擧げることが出來るので同署では大にこれが製造を指導且奬勵することになつたこれ等の樹木は木炭にも用材にもならず朽木同樣なので殆ど無償同樣の廉價で拂ひ下を行ふことが出來都箸は年中需要あり正副營何づれにも適するから非常な期待を受けて居る

連日滿員の 海水浴場

小名、四倉舞子賑ふ

小名濱や四倉海水浴場、新舞子、方面の海濱は昨今の惠まれた好天候に海へ！海へと誘惑される避暑客に各濱とも連日數千を越え大小數十軒の脱衣場、賣店はギッシリと客のスシ詰めで大繁昌を極め砂原は全く人を以つて埋まり町役場では無料脱衣場を開設し避暑客の便利を計り尚ほ警官出張所を設け風紀其の他を取締つてゐるが毎日多い迷子は連日十數名を出し此の處分に警官も困り拔いてゐる、遊客は平町地方からが一番多く乘合自動車は鈴なりのまゝ仕つ切りなく運んでゐる四倉驛では平間と臨時列車を運轉する程である

小名濱に開催

北海道東北六縣海洋調査協議會は毎年各縣持ち廻りで開會してゐたが昭和五年は本縣に於て開催する事になつたが開催地は小名濱となるか知れぬ

光明開拓の一途

萬難を排し 苦闘幾年の功

萩原申八氏

石城郡好間村小田炭礦株式會社長萩原申八氏は新潟縣の産、遙かに青雲の志を抱いて鄕關を出て冷姿貧弱の身を以て鑛業界に飛躍し勇往邁進、精勵刻苦して倦まず大正五六年の交世界大戰に際し工業勃興と共に赤井村に大倉炭礦を經營して獨立獨歩、然かも優秀の成績を以て事業は順調に伸展し所謂鑛山王たる素質と可能性を發ち得たのである

然れども然ゆるが如き向上心と氏の希望は單に物質的成功を以てのみ足れりとせず更らに進んで一大鑛業界に勇飛すべく十數萬圓を以て自巳の大倉炭礦を賣山し小田吉次氏と結んで一躍百萬圓の資本金を有する小田炭礦株式會社の創立を企劃しその成立と共に專務取締役として確信ある炭礦經營の主宰者となつたのである

性極めて快活、學識圓滿方正なる人格者にして人に接するや溫厚綏和、毫も嬌色なく胸間清明些さかの城壁を設けず一見人をして愛慕の念を抱かしむ

而して事に當るや鋭進邁往敢て一歩を人に假さず時流に秀てたる見識を以て究く目的の一貫に努めた實に天才的事業界の雄者である、斯くの如くして事業は順調に其の手腕力量益々光彩を放たんとする折柄炭礦界の逆境に會し彼の大世帶を負つて立つ經營苦心は普々の事業家を以てしては倒底及ぶ能はざる所であるが氏は先年社長就任と共に克く萬難を排し容易に之れを切り拔けてゐる

其の非凡なる手腕は社會の賞賛を博して止まぬものあるが一陽復た來るべき炭礦界の黄金時を前に大なる光明と希望を以て始終してゐる又た賞すべきなり。

郡下の信用組合に 擔保附で金を融通

八月一日から實施した 平町の聯合組合出張所

本縣信用組合聯合會では本年度から平町に出張所を設置し成績佳良であるが之までは主として預かり金の取扱ひのみで貸付は一切行はなかつたが貸付を行はねば眞に出張所の機能を發揮する事が出來ぬからとて去る八月一日より擔保貸付を認むることになつた、但し擔保品は有價證券、米、繭の三種に限定し一組合に對し六千圓を限度にすることに右の條件以外のものは一切本會で處理する筈でそれが爲め本郡の各信用組合は相當の便宜がある筈である

指輪に感電して 妻と娘三名死傷

上遠野村の椿事

石城郡入遠野村字上根本、上遠野源八方で源八長女ゆう（三二）同村字入遠野幸太郎長女上遠野まさ（一八）及び同村字山田、政時妻佐藤もと（三三）の三名は四日午後四時半頃クローム指輪を弄んでゐたところ突然激しい雷鳴と共に豪雨襲來同所附近四ケ所に落雷指輪を持つてゐたまさは感電即死、ゆうは耳の鼓膜を破りもとは全身にしびれを來し各全治一ケ月の重傷を負つた

酌婦の色香に迷ひ 少年罪の重ね

自轉車專門の義一 再び平署に檢擧

四倉町本町の高崎義一（一七假名）は平町四丁目飲食店つる屋方抱酌婦所さだ（二四）の色香に迷ひ遊興費に窮し平、神谷村間の國道附近の民家から自轉車を窃取賣却した事發覺平署に檢擧取調べの上送檢されたが平檢事局では少年犯の事とて嚴重將來を戒め放免したが酌婦さだの事を思ひ切れずまた〳〵四倉町に於て自轉車を窃取逃走五日午後七時頃平町南町邊をはいかい中平署の手に捕はれた

五百圓の罪

平署に捕はる もぐり桂庵

東京市深川區西平井町モグリ周旋業常盤屋こと大山宗太郎（四〇）は同町周旋業渡邊平六より酌婦石田ミツ子（一九）の周旋方を依頼され去る二日ミツ子を伴つて平町に來り南町周旋業長谷川濱に五百圓で賣り拂ひ乍ら平六には一文も拂はず平町で遊興中五日夜平署に捕はれ

モダーン海水衣

男女ともに濃厚な色合 平町の水浴仕度

平町は毎日燒け付く樣な天候に寒暖計は九十度を越し街頭各商店のウインドも眞夏にふさわしい輕裝な飾り付けをなし夜となれば客足も繁くなるがコツ日中の熱さではサツパリに客もありませんと云ふが季節物の洋品の流行を聞いて見ると海水浴衣は女物でガス生地五十錢から一圓位まで毛系製品で二圓四、五十錢模樣と云へば一般に無地でローズエビ茶、ミカン色等が好まれスカートに模樣のあるものが流行し男物としてもこれと同一値で今年はシユンの褌が用らる樣になつた海水帽は毛系、ゴム製で四十錢から舶來で一圓位、水泳靴は普通で一圓、模樣つきはケバ〳〵しい極端な色彩が流行してゐる

平行進曲

(1) 昔戀しい平の櫻
仇な年増を誰が知ろ
盆に踊つてリデキールで
更けて
明けりや踊子の涙雨

(2) 戀の平局あの窓あたり
ないて文書く人も有る
ルナアーパークで手折つ
た百合を
せめてあの娘の思い出
に

(3) 廣い平も戀故せまい
粹な松ケ岡忍び會い
貴男機關士妾はバスよ
戀のストツプまゝなら
ぬ

(4) シネマ見ましよかお茶の
みましよか
いつそ準急で逃げまし
よか
變る平町あの城山の
月も鐘つき堂の屋根に
出る　（天笠浪八作）

投稿家へ

日大醫學部の或る投稿生氏の「口控術生と夏の食物」なる原稿は本社に届いておりません

内務部長歡迎

濱通り方面視察のため來郡した金森内務部長は五日統計講習會に臨席小名濱港その他を視察し新米に一泊したが小名濱町では町主催の下に町議有志並に附近町村長官公衙長約五十名を以て歡迎會を開いた

藤沼醫院
平町紺屋町
電話五〇七番

大和田醫院
平町南町
電話一七〇番

レコードハ此のマーク！を
HIS MASTER'S VOICE
肉聲のビクターレコード
販賣店
會田時計店
平町四丁目（電話三六三番）
店員募集

會員諸君に告ぐ
來る八月八日午前九時より第三十回同窓會總會を開會す、此の廣告を以て御通知に代ふ
磐城佑賢學舍
同窓會

内科診療
消化器病科　呼吸器病科
小兒内科　一般内科
入院應需（自炊ノ便アリ）
平町鼠坂
渡邊内科醫院
電話一六一番

一圓十錢のフランス
マルソー會社元詰
マルソー、ブランク
マルソー、ルージ　生葡萄酒
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
平二　西村屋藥舗
たはなし　三番

營業種は　石炭　コークス　玉炭
磐城第一ノ石炭トシテ自他共ニ推稱スル
◎磐城炭礦ノ最上石炭
一、正味十貫目入　壹俵　金六十五錢
◎日本デ一番評番ノ良イ東京瓦斯コークス
一、コークス　壹俵　金壹圓三十錢
◎木炭ノ三倍御徳用ナ㋡ノ玉炭
一、玉炭　大箱壹箱　金貳圓
配達ハ一俵ヨリ致シマス
平驛前
㋡阿部石炭商店
電話二三七番